

【NEWS RELEASE】

2022年12月22日

各 位

株式会社三井住友銀行

森林ファンド The Reforestation Fund への出資について

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠、以下「三井住友銀行」）は、南米を中心に植林事業を行う森林ファンド The Reforestation Fund（以下「TRF」）への出資契約を締結いたしました。本件は、三井住友銀行初の森林ファンドへの投資となります。

TRF は、世界有数の森林投資マネージャーである BTG Pactual Timberland Investment Group, LLC によって管理・運営され、南米の放牧地にて木材生産を目的とした産業植林と森林保全を目的とした環境植林を行うファンドです。本ファンドでは、国際的な環境 NGO である Conservation International（*1）が透明性や説明責任、影響に関するアドバイスをを行い、且つ、FSC をはじめとする国際的な認証を取得するなど、適正な管理の下、持続可能な森林経営が行われます。

また、植林事業による CO2 吸収量は、国際的に認められた基準に照らしカーボンクレジットとして認証される予定です。パリ協定の採択以降、グローバルに脱炭素化に向けた動きが加速する中、企業による GHG（Green House Gas）排出量削減の取組に加え、カーボンクレジットに対する期待も高まっています。三井住友銀行は、本事業を金融面から支援すると共に、認証されるカーボンクレジットをお客さまに提供することで、社会全体の脱炭素化に貢献してまいります。

三井住友銀行を含む SMBC グループは、「SMBC Group GREEN Innovator（*2）」のもと、本件をとおして自然資本の保全・活用に取り組み、脱炭素社会への移行と実現、レジリエンスの向上に積極的に貢献してまいります。

（*1）Conservation International：自然生態系の保全活動等を行っている国際的な自然保護団体。

（*2）SMBC Group GREEN Innovator：SMBC グループにおけるサステナビリティ関連のソリューションの提供及び新たなサービス開発やノウハウ蓄積の活動・取組。

以上